

〔議員用〕・会派用

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和6年4月30日

八尾市議会議長

田中 慎二 様

議員名又は会派名とその代表者名

川上 舞

条例第13条第1項の規定により、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

（単位：円）

項 目	金 額
政 務 活 動 費	770,000

2 支出

（単位：円）

項 目	金 額
支 出	調査研究・研修費 231,060
	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費 11,006
	広 報 費
	広 聴 費
	日 常 活 動 費
	人 件 費
	事 務 所 費
	事 務 費
	合 計 242,066

3 収入支出差引残額（返還額）

527,934 円

注）支出が収入を上回る場合は、残額欄には0円と記載のこと。

政務活動費における活動報告書

令和5年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、主要な政務活動内容の概要については、別紙のとおりでありますので、条例第14条第1項及び条例施行規程第9条第1項の規定に基づき簡潔に報告いたします。

議員名又は会派名とその代表者名

川上 舞



研修日：令和5年5月22日 10:00～12:30 14:00～16:30

研修名：「よりよい議員活動のための質問作成特別講座」

講師：木村亮太（元枚方市議会議員）

議員活動の基本①(質問の作り方)

- ・議員に当選したらすぐに取り組んでほしいこと

当選後は右も左も分からないことだらけだがまずは所属議会での一般質問のルールを確認すること。議会の1年間の流れやスケジュールの確認。

また当選後に早めに選挙公約の内容を掘り下げ議会で取り上げること。

- ・議会発言の意義と効果

議案質疑と一般質問の違い。一般質問で取り上げるべき内容。（政策の優先度や実現困難度から何を一般質問とするのか）

- ・質問のための準備とスケジュール

中身のある質問にするためには早めの打ち合わせが必要

- ・職員とのかかわり方

お互いの立場を尊重しあう。趣旨が伝わるようにするために良い関係性を築いていく。

議員活動の基本②（質問の作り方とネタ探し）

- ・質問の情報源になるもの

内部資料：事務概要・統計書、行政評価書・政策評価書・事務事業評価、行政計画、決算審査意見書、包括外部監査

外部資料：決算カード、財政状況資料集、業界紙

- ・人口減少と人口ビジョンの確認

各市で設定されている上記の見方

- ・質問を実現させるために必要な条件

アンテナを張ることと根気が必要。問題認識の共有。情報の提供、情報発信（ブログの充実）終わるたびに議会報告のブログを残しておく。

- ・質問のスケジュールと解説

議会の3か月前からネタ探し、職員と打ち合わせしていく。

上記内容を受講。6月に控えている本議会において個人質問を行おうと考えていたが何から行えばよいのか分からなかった。研修では新人議員にも分かりやすく単語の解説があり、質問時間も長く取ってくれていたため今後の一般質問にどう取り組むのか、有意義な答弁になるにはどうしたら良いのか理解しやすい内容であった。4月に当選し6月に一般質問を行うのは時間に余裕が無いがその中でどのようにスケジュールを組んでいくか考えるきっかけとなった。

研修日：令和5年5月27日 10:00～12:30 14:00～16:30

研修名：「議員20年の経験から語る基礎講座」

講師：宮本正一（元寝屋川市議会議員）

議員活動のすべてⅠ ～理想の地方議員になるために必要なこと～

- 1、理想の地方議員成立要件とは
 - ① 地方自治体が効率的・自主的な経営をしていること、市民・NPO 団体と実務的に協働すること、またそれらを実現してくれる地方政治家を選出すること。
 - ② 地方議員は新しい市民ニーズへの対応力を持つこと、地域問題を明確化すること、それらの解決プロセスの可視化をすること
- 2、議会と執行部の関係性
- 3、一人会派、少数会派の戦い方
- 4、与党会派の役所の動かし方
- 5、議会に先輩後輩はない。あるのは期数。

議員活動のすべてⅡ ～質問づくりのための疑問のすべてに答えます～

- 1、 質問づくりの基礎から注意点
- 2、 決算の見方、質問づくりのコツ
- 3、 議員セミナーで好評な質問づくりの準備と技法
- 4、 街を動かした質問（寝屋川市の事例）

上記内容を前半・後半で1日かけて受講。選挙の対策から議会質問にかけて幅広く新人議員向けに分かりやすい内容の講義となっていた。6月に控えている本議会において個人質問を行おうと考えていたが何から行えばよいのか分からなかった。研修では新人議員にも分かりやすく単語の解説があり、質問時間も長く取ってくれていたため今後の一般質問にどう取り組むのか、有意義な答弁になるにはどうしたら良いのか理解しやすい内容であった。4月に当選し6月に一般質問を行うのは時間に余裕が無いがその中でどのようにスケジュールを組んでいくか考えるきっかけとなった。

また講師が元寝屋川市議会議員であり、自身の経験に基づいた具体例も多く参考にしやすい内容であった。

政務活動 研修費活動記録簿添付資料

【活動概要と成果】

No.調研-3

研修日：令和5年6月3日 10:00～12:30 14:00～16:30

研修名：「新人議員研修 全国キャラバン」

講師：川本達志（元廿日市市副市長）

1 期目議員のための議員活動 新人研修 1

- ① 1 期目に絶対にやってほしいこと、注意してほしいこと
- ② 1 期目はまず学ぶことから
まずは役所の仕組みや議会の権限、議員の権能を知る
- ③ 地方議員として最低限必要な基礎知識
- ④ 学習方法
- ⑤ 既存の制度等の内容は係長に聞く
- ⑥ 先輩議員に教えてもらうこと
- ⑦ 職員からみた議員とは
- ⑧ 基礎知識としての財政のポイント
予算編成の原則、予算とは「財源（歳入）」と「事業計画（歳出）」

1 期目議員のための議員活動 新人研修 2

- ① 相手を知る
役所（執行機関は何をしているのか）行政とは何か、役所の体質、予算のスケジュールと役所の政策決定の仕組み、議員は行政の課題を見つけることが最大の仕事
- ② 議会と職員ができることできないこと
- ③ 役所を動かす質問の仕方の必須条件
質疑や質問の組み立て方、先進事例導入を提案・質問するときの留意点

上記項目を午前と午後に分けて1日で受講した。新人議員向けの内容であり内容は噛み砕いてかなり分かりやすく構成されていたが予算、決算については時間も足りず1時間程度では理解が難しい内容であった。予算についての講座はまた別に受講しきちんと学ぶ必要があると感じた。講師は「役所を動かす質問の仕方」の著者である川本達志氏であり本の内容も要点を取り上げてくれたため6月議会に向けての理解は多少なりと得られた。また議員としての視点ではなく執行部としての経験を話して下さったので議員としても気をつけないといけないことが分かりやすい内容であった。

政務活動 研修費活動記録簿添付資料

【活動概要と成果】

No.調研-4

研修日：令和5年7月13日 10:00～12:30 14:00～16:30

令和5年7月14日 10:00～12:30 14:00～16:30

研修名：「財政基礎研修レベル1 世界一わかる自治体財政編」

講師：森裕之（立命館大学政策科学部教授・博士）

自治体財政の基礎的理解

財政基礎歳入編

- ① 地方財政の仕組みをゆっくり解説
- ② 地方税の区分をゆっくり解説
- ③ 補助金の仕組みと質疑のための課題
- ④ 地方債の役割

財政基礎 歳出編

財政健全化のための基礎的課題 財政破綻の足音を察知するために見る

- ① 税の使い道を目的別と性質別で押さえる
- ② 住民一人当たりのコストを比較
- ③ 自治体財政の全体像から考える観点
- ④ 黒字と赤字を正確に把握する
- ⑤ コロナによる基金の変化
- ⑥ 財政の健全性を見るためのポイント

自治体財政の基礎についての本を出版されている森裕之講師による基礎的な講義を2日かけて受講。なぜ自治体の財政は分かりにくいのかということから基礎から解説し自治体財政を家計に例えることでより理解しやすく学ぶことができた。また出席議員の自治体の決算状況をピックアップし解説してくれるため八尾市の現状が把握しやすい講義であった。2日間朝から夕方まで学び、財政の基礎編ということでかなり分かりやすい講義であったが財政の理解は難解であり、課題を見つけるどころかまだほんの入り口を知っただけだと感じた。今後とも学び続けていく必要を感じた。

政務活動 研修費活動記録簿添付資料

【活動概要と成果】

No.調研-5

研修日：令和5年8月9日 10:00～12:30 14:00～16:30

令和5年8月10日 10:00～12:30 14:00～16:30

研修名：「財政基礎研修レベル3 あなたのまちの財政比較分析編」

講師：森裕之（立命館大学政策科学部教授・博士）

財政の基礎と資料の見方

財政状況資料集 Part①

- ① 基礎と決算カードの復習
- ② 疑似団体の一覧と財政比較の基本
- ③ 財政力指数、経常収支比率、健全化判断比率の比較
- ④ 財政状況資料集の意義と見方

財政状況資料集 Part②

財政状況資料集を使ってできる財政質疑のポイント

- ① 財政比較分析表の活用方法
- ② 参加自治体の財政分析
- ③ 自治体の税収減の課題と対策
- ④ 財政健全化に向けた国の動きと見える化
- ⑤ コロナ対策の現状と自治体財政

自治体財政の基礎についての本を出版されている森裕之講師による講義を2日間かけて受講。前回は基礎研修のレベル1、今回はレベル3でありより深い内容の講義であった。基礎研修ではあるが1期目の議員だけではなくベテラン議員も多く参加。総務省のHPに掲載している八尾市の財政状況資料集を用いて各自治体の比較を学んだ。またどこに問題があるのか各自で考え解決策を話しあった。日程が合わずレベル2は未受講となってしまう理解が難しいところもあった。自治体財政は有意義な議会とするために今後とも学び続けていく必要があると感じた。